平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場会社名　大倉工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4221　URL　http://www.okr-ind.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高浜　和則
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役常務取締役コーポレートセンター担当兼経理部長　(氏名) 豊田　員史　TEL 0877-56-1111

四半期報告書提出予定日　平成24年11月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	61,550	△4.4	1,449	△17.6	1,259	△10.8	1,034	△41.2
23年12月期第3四半期	64,364	9.6	1,758	42.6	1,412	51.3	1,758	43.9

(注)包括利益　24年12月期第3四半期　996百万円　(△38.9%)　23年12月期第3四半期　1,631百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	16.91	―
23年12月期第3四半期	28.73	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	84,039	33,210	39.5
23年12月期	86,426	32,532	37.6

(参考) 自己資本　24年12月期第3四半期　33,210百万円　23年12月期　32,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	0.00	―	5.00	5.00
24年12月期	―	0.00	―		
24年12月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年 1月 1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,500	△2.7	2,000	△18.0	1,700	△19.1	900	△42.0	14.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期3Q	62,074,351 株	23年12月期	62,074,351 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	934,278 株	23年12月期	870,139 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期3Q	61,194,296 株	23年12月期3Q	61,214,628 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エコカー補助金などの政策効果や東日本大震災からの復興需要に支えられ、内需関連産業を中心に緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、長引く円高や欧州債務問題、中国をはじめとする新興国の景気減速などの要因により、輸出関連産業を中心に先行き不透明感が拡がってまいりました。

このような状況の下、当社グループでは細やかな拡販努力を重ねるとともに、生産効率の改善と固定費の削減に努めました。

しかし、建材事業におけるパーティクルボードのJIS認証取消しの影響などにより、当第３四半期連結累計期間の売上高は615億５千万円（前年同四半期比4.4％減）、営業利益は14億４千９百万円（前年同四半期比17.6％減）、経常利益は12億５千９百万円（前年同四半期比10.8％減）、四半期純利益は10億３千４百万円（前年同四半期比41.2％減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

〔合成樹脂事業〕

農業向け機能性マルチフィルムや乳酸飲料向けシュリンクフィルムなどの製品は販売数量が伸びましたが、産業資材用プロテクトフィルムや産業用及び食品向けラミネートフィルムは販売数量が減少しました。

この結果、売上高は363億７千５百万円（前年同四半期比4.4％減）、営業利益は24億１千５百万円（前年同四半期比14.7％減）となりました。

〔新規材料事業〕

一部の光学フィルムの加工業務が取引先の商流変更に伴い縮小しましたが、スマートフォンやタブレット端末向けの光学フィルムの販売数量が順調に推移しました。

この結果、売上高は170億４千万円（前年同四半期比8.7％増）、営業利益は12億７千５百万円（前年同四半期比112.4％増）となりました。

〔建材事業〕

主力製品であるパーティクルボードの販売数量が、２月29日のJIS認証取消し以降大幅に減少した結果、売上高は43億４千３百万円（前年同四半期比38.7％減）となりました。

営業損失は返品となった商品に加え、当該品に係る在庫も処分したことなどにより12億８千７百万円（前年同四半期比６億４千７百万円悪化）となりました。

〔その他〕

木材加工（プレカット）事業及び宅地造成及び建物建築事業が順調に売上を伸ばしました。

この結果、売上高は37億９千万円（前年同四半期比6.8％増）、営業利益は２億２千８百万円（前年同四半期比19.2％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ23億８千６百万円減少し840億３千９百万円となりました。その主な内訳は、受取手形及び売掛金など流動資産の減少19億９千万円及び有形固定資産など固定資産の減少３億９千５百万円によるものであります。

一方、負債につきましては、短期借入金など流動負債の減少21億８千７百万円、リース債務など固定負債の減少８億７千７百万円により、前連結会計年度末に比べ30億６千４百万円減少し508億２千８百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金の増加７億２千８百万円などにより、前連結会計年度末に比べ６億７千８百万円増加し、332億１千万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.9ポイント上昇し、39.5％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年７月27日に公表いたしました連結業績予想から修正はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,780	6,657
受取手形及び売掛金	24,935	23,319
商品及び製品	4,635	4,943
仕掛品	648	767
原材料及び貯蔵品	2,913	3,442
販売用不動産	128	138
繰延税金資産	561	666
その他	1,261	918
貸倒引当金	△39	△19
流動資産合計	42,826	40,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,633	17,562
機械装置及び運搬具（純額）	9,963	9,833
土地	6,983	6,983
建設仮勘定	1,898	1,088
その他（純額）	636	694
有形固定資産合計	37,115	36,161
無形固定資産	181	183
投資その他の資産		
投資有価証券	5,140	5,178
繰延税金資産	306	336
その他	933	1,387
貸倒引当金	△76	△43
投資その他の資産合計	6,302	6,859
固定資産合計	43,600	43,204
資産合計	86,426	84,039

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,428	17,577
短期借入金	10,765	8,200
1年内返済予定の長期借入金	2,507	2,430
リース債務	649	667
未払法人税等	191	134
設備関係支払手形	706	121
賞与引当金	―	603
建物等除却損失引当金	119	24
その他	5,744	6,164
流動負債合計	38,112	35,924
固定負債		
長期借入金	9,400	8,955
リース債務	2,626	2,146
退職給付引当金	2,543	2,586
役員退職慰労引当金	252	288
その他	959	926
固定負債合計	15,781	14,904
負債合計	53,893	50,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,619	8,619
資本剰余金	9,068	9,068
利益剰余金	15,071	15,800
自己株式	△416	△428
株主資本合計	32,343	33,059
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189	151
その他の包括利益累計額合計	189	151
純資産合計	32,532	33,210
負債純資産合計	86,426	84,039

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	64,364	61,550
売上原価	55,613	53,124
売上総利益	8,750	8,425
販売費及び一般管理費		
販売手数料	73	78
運送費及び保管費	2,124	1,784
給料	1,487	1,568
賞与	271	263
賞与引当金繰入額	173	168
役員報酬	217	206
退職給付費用	111	122
役員退職慰労引当金繰入額	28	38
減価償却費	92	99
研究開発費	921	778
貸倒引当金繰入額	3	△24
その他	1,486	1,891
販売費及び一般管理費合計	6,991	6,975
営業利益	1,758	1,449
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	64	64
為替差益	－	10
雑収入	101	99
営業外収益合計	170	178
営業外費用		
支払利息	357	312
債権売却損	27	26
為替差損	86	－
雑損失	44	29
営業外費用合計	516	368
経常利益	1,412	1,259
特別利益		
貸倒引当金戻入額	183	－
保証債務戻入額	23	－
固定資産売却益	1	3
特別利益合計	207	3
特別損失		
固定資産除売却損	88	29
投資有価証券評価損	25	113
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8	－
特別損失合計	123	142
税金等調整前四半期純利益	1,497	1,120
法人税、住民税及び事業税	233	253
法人税等調整額	△494	△167
法人税等合計	△261	85
少数株主損益調整前四半期純利益	1,758	1,034
四半期純利益	1,758	1,034

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,758	1,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△127	△37
その他の包括利益合計	△127	△37
四半期包括利益	1,631	996
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,631	996
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成23年１月１日　至　平成23年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	合成樹脂事業	新規材料事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	38,055	15,676	7,083	60,816	3,548	64,364	―	64,364
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	―	―	3	369	372	△ 372	―
計	38,059	15,676	7,083	60,819	3,917	64,737	△ 372	64,364
セグメント利益又はセグメント損失(△)	2,831	600	△ 639	2,792	192	2,984	△ 1,225	1,758

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,225百万円には、セグメント間取引消去０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,225百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	合成樹脂事業	新規材料事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	36,375	17,040	4,343	57,760	3,790	61,550	―	61,550
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	―	―	2	371	373	△ 373	―
計	36,378	17,040	4,343	57,762	4,161	61,924	△ 373	61,550
セグメント利益又はセグメント損失(△)	2,415	1,275	△ 1,287	2,403	228	2,632	△ 1,182	1,449

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,182百万円には、セグメント間取引消去△０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,182百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。